

地域包括ケア病床のご案内



■地域包括ケア病床について

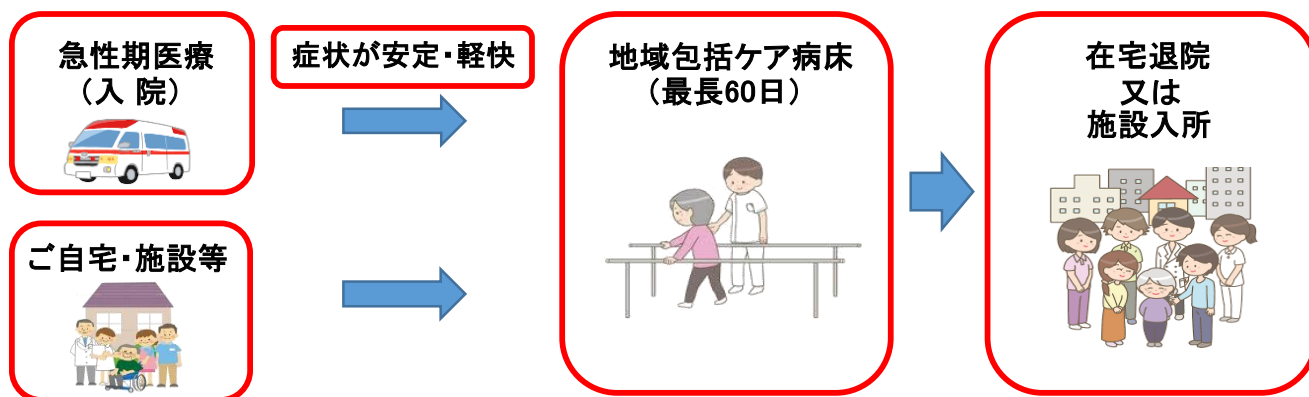
「地域包括ケア病床」は、急性期医療を経過し、症状が安定した患者さんに対して、自宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行う病床です。また、救急治療を要さないものの自宅や施設での生活が難しい時にも入院ができます。

原田病院では4階病棟に地域包括ケア病床15床をご用意し、安心して退院して頂けるよう医師や看護師、病床専従のリハビリテーション担当者、医療ソーシャルワーカー等が協力し支援していきます。

■対象となる患者さん

自宅あるいは施設に復帰予定で、もう少しの間リハビリや在宅復帰に向けた準備が必要な方です。

在宅復帰の準備が整った後に退院となります。(最長60日)



■入院費について

入院費は地域包括ケア病棟入院料として計算します。1か月の医療費負担の上限は一般病床と変わりません。お薬や注射、簡単な処置、検査は一部を除いて包括費用に含まれます。(食事代、個室利用料、寝衣、おむつ代などは別料金となります)

詳しいことは病棟事務にご確認ください。

■入院に対する留意点

一般的な血液検査・レントゲン検査・投薬治療は可能ですが、一般病床で行うような高額な医薬品の投与や特殊な検査・手術などには対応できません。

症状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病床に転床する場合があります。

